

理事会報告①

日本菌学会 2020 年度第 3 回理事会 (web 会議) 議事録

日時：2020 年 11 月 5 日 (木) 15:00 ~ 17:00

出席者 (順不同, 敬称略) :

会長 田中千尋, 副会長 矢口貴志, 理事: 清水公徳 (庶務), 伴さやか (庶務), 糟谷大河 (国内集会), 谷口雅仁 (国内集会), 山田明義 (日本菌学会会報編集責任者), 保坂健太郎 (国際集会), 中島千晴 (国際集会 [AMC]), 細矢剛 (企画・広報・教育・普及), 田中栄爾 (編集委員長), 本橋慶一 (会計), 監事: 大和政秀, 稲葉重樹

会議成立の確認

本会議は, 次年度大会のオンライン開催中止に対するのオンライン開催に向けた骨子づくりのための喫緊の課題のみが議題となった。理事・監事全員が参加し, 本理事会の成立が確認された。

【審議事項】

◎ 第 65 回 (熊本) 大会の開催について (糟谷理事)

オンライン大会の開催案について資料に基づいて説明があり, 実用例に基づいて利用が検討されている LINC Biz のシステムが説明された。コロナ禍で中止となった大阪大会を 2022 年, 熊本を 2023 年で進めたい。

プログラム構成と適正な参加費について

参加費を無料とするか, 小額でも徴収するかについて, 発表形式やプログラム構成の検討を交えながら活発な意見が交わされた。

- ・ポスターと講演要旨を見られる時間を長めにとって, コアタイムや受賞講演をやるタイミングは従来の日程通りにしたい。代議員総会は (大会とは別に) 5 月中にオンライン形式で行う予定。
- ・オンライン開催であれば環境生物コミッティーなどの関連学会に積極的に声をかけて公開し, Mycoscience への投稿や入会を促す機会にしてはどうか。
- ・オンラインポスターは評判が悪い。動画でも良いので学生には発表する経験を与えたい。参加費無料となる安いウェブサービスから構成を考えないで欲しい。
- ・いつでも視聴できるオンデマンド配信は結局見ないのではないか。
- ・無料だと参加者が急増し, リスクファクターにもなる。大会運営の外注できるところを外注するのは良い。会員メリットは発表権利があるということで説明する。
- ・今回だけ例外として無料にし, 実行委員も動ける人が選ばれているからできるかもしれないが, 一回でも前例

をつくと大学など小規模の人員構成の時に (同様のオンライン開催にすることが) できない。

- ・平年並みに参加費を取った時に, どれだけの人がポスター発表をしてくれるだろうというところが心配だ。

大会の開催日程について

- ・9/6 ~ 11 の案と 8/30 ~ 9/4 の案の順に実行委員会で調整することです承された。

実行委員会の運営

- ・大会長を田中千尋会長が務めることが提案され, 了承された。
- ・今回の審議内容を踏まえた上で, 実行委員会で再検討及びブラッシュアップした提案を 12 月末までに出してもらい, 再び理事会で審議する。

【報告事項】

◎ 科研費申請について (中島理事)

科研費申請書は会長と編集委員長と作成した。要点は, 順調に運営している学会だが, 2020 年の編集体制の変更により, 現状維持と発信力強化に支援が必要であること, アクセス数やインパクトファクターの上昇を目標とする。コロナの影響を考えて国際シンポジウムなどの開催費用は減らしている。

◎ 会計関係 (本橋理事)

本年度予算の執行状況及びイベント関連の進捗 (中止) などの変更点が報告された。

◎ Mycoscience 出版移行について (田中会長)

- ・冊子体の配布の継続について, 会員向けには, 最後のエルゼビア社の出版物を送る際に, 次号からの冊子の予定などの手紙を同梱する予定。
- ・編集システムの EES から EM への移行は無事に終了した。

以上。